学校番号	411

平成 31 年度　芸術科（美術）
（グローバル科）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「美術Ⅰ」（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動の様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期から2学期中間考査まで	美術ってなんだろう	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・クロッキー	○ ○	○	○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	模写に挑戦	【デザイン】 ・作品選択 ・配色とデザイン B4 ケントボードに鉛筆で下描きをした後、アクリル絵の具で着色する。 場面それぞれのイメージに合うように明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。	○ ○	○ ○	○ ○		a:描かれた作品の時代背景や配色に関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:選択した作品の形や色彩などの働きを考えて、その場面にふさわしいと思う構図を考えて下書きをしている。 c:アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	制作の様子 制作途中の作品 作品

2学期中間考査後から3学期最後まで	仮名の書	【デザイン】 【彫刻】【鑑賞】 ・作品の鑑賞 ・クロッキー帳にアイデアスケッチ ・アイデアスケッチをもとに、テーマに沿ったキャラクターを6枚の画用紙に下がきをする。 ・画用紙を6等分し、目打ちで線引きをする。 ・鑑賞 ・制作① アクリル絵の具や色鉛筆、その他必要な素材等を用いて、制作を行う。 ・制作② 平面作品を基に紙粘土で成形し、針金等を使って自立させる。 ・乾燥後、アクリル絵の具等で着彩する。 ・相互鑑賞	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○